

平成 29 年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「スピタク市第 8 学校暖房設備改善計画」 供与式の実施

平成 30 年 7 月 31 日(火)、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「スピタク市第 8 学校暖房設備改善計画」の贈与契約の供与式典が、アルメニア北部ロリ州スピタク市において開催されました。本式典には、山田在アルメニア大使の他、被供与団体である NGO「スピタク農民」のマルコシャン代表、ハルチュニャン・アルメニア教育科学大臣、ロリ州政府のグカシャン副州知事およびサルカニャン副州知事、サハキヤン・スピタク市長、ガブリエリヤン・アルメニア非常事態省救助隊次長、サルダリヤン・スピタク第 8 学校長等、その他大勢の生徒や保護者が出席しました。

本計画は、スピタク市内で唯一身体障害児を受け入れ、また 1988 年のスピタク大地震で住居を失った被災者の移住区域に設置されているスピタク市第 8 学校の暖房設備を天然ガスと太陽光エネルギー併用の設備に更新することで、障害児を含む児童 350 名の学習環境と教職員 58 名の就業環境を向上させるものです。本計画は太陽光エネルギー併用システムを公立校の暖房設備に導入する全国初の試みとして、注目度の高いプロジェクトであるだけでなく、実用面でガス型暖房設備の上位機種対比で約 37%の CO2 排出量を削減することができ、環境面でも大きな効果が期待されます。また、発電した電力は暖房目的以外にも、校内の電気に使用することができ、余剰分は電力会社に売電することで換金することも可能です。本計画は平成 30 年 3 月 11 日(日)に当館と被供与団体間で贈与契約が締結され、日本政府より 82,992 米ドルが供与されました(署名式のプレスリリースは[こちら](#)をご参照下さい)。

案件名： スピタク市第 8 学校暖房設備改善計画 (於ロリ州スピタク市)
被供与団体： NGO「スピタク農民」(NGO “Spitak Farmers”)
贈与金額： 82,992 米ドル (9,129,120 円)
贈与契約締結日： 2018 年 3 月 11 日(日)



東日本大震災犠牲者への献花



生徒による伝統的な賓客出迎えの儀式



生徒による挨拶



エレバンの大学に進学した同校 OB による
開会の挨拶



生徒や卒業生、職員によるスピーチや舞踊



サルダリャン校長による挨拶



サハキャン市長のスピーチ



ハルチュニャン教育科学大臣のスピーチ



グカシャン副州知事のスピーチ



山田大使による祝辞



供与した設備



屋上に設置された太陽光パネル